



ADRC Highlights

Vol.26

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

June 18, 2001

➤ ADRC インド西部地震多国間調査ミッション



被災地の視察をする参加者

アジア防災センターは、今年1月26日にインドのグジャラート州で発生したインド西部地震に関する多国間ミッションを実施しました。

ミッションの目的は、地震の被害状況や復興状況を把握するとともに、インド西部地震で得た教訓を各国の今後の防災対策にどう活かすか、さらにこれからの多国間協力のあり方などを検討していくことです。ミッションの参加国はアルメニア、オーストラリア、インド、中国、日本、マレーシア、ロシアの7国、スケジュールは以下の通りです。

- 6/4 デリーにおいてインド農業省及び NCDM から地震と対応の概要把握
- 6/5 ブジ市に移動、カッチ郡徴税事務所現地対応状況把握
- 6/6 UNDP、CARE(NGO)、AHBIYAN(NGO)で対応状況把握、震央付近のロダイ村及びブジ市旧市街の現地調査
- 6/7 被害が大きいアンジャール、パチャウ、ラパルの現地調査、パチャウ西に建設中のニュータウン視察
- 6/8 デリーに移動、ラップアップミーティング

死者2万人以上、全壊家屋37万棟、被害額5,600億円もの被害となったインド西部地震が発生してから4ヶ月が経過し、4月訪問時にはガレキの山だらけだったブジ、アンジャール、パチャウなどの都市部では、ガレキ除去は急速に進展し、広大な広場が出現していました。また、何種類もの仮設住宅が建設されていましたし、パチャウ西約20kmのインドラプラシャ(Indraprastha)では600戸の恒久住宅と病院、銀行、ショッピングセンター、大学からなるニュータウンが建設中で、復興に向けた着実な進展が感じられました。



さまざまな仮設住宅

その一方で、郊外地域ではガレキ除去がなかなか進まず、都市と郊外地域の復興速度格差を感じました。

各組織でのミーティングでは、今後の防災都市計画や、政府機関・NGO・国際機関の連携のあり方等について質疑が交わされました。ラップアップミーティングでは各参加者から本ミッションで得たことが発表されるとともに、本ミッションを用意したインド政府とADRCに対して多くの謝辞が述べられ、十分な成果を胸に帰国していきました。

今後の予定ですが、11月に第四回アジア防災センター専門家会議をインド(ニューデリー近郊)で開催します。その中でインド西部地震に関するセッションを持ち、インド西部地震で得た教訓を自国の防災対策にどう活かすか、インドに対する多国間協力のあり方などについて、本ミッション参加国から提案・報告を受け、議論します。

なお、本調査の詳細や写真については、ADRCのホームページで公開しています。<http://www.adrc.or.jp/India/frontpage.htm>
(主任研究員 荒木田勝)

➤ ADRC スタッフ紹介

□ 主任研究員 日下太一

アジア防災センター主任研究員の日下です。1998年7月センターの開設以来参加しています。住友電工からの出向です。



Papua New Guinea にて

過去3年間に、メンバー国訪問・調査、各国防災体制データベース、パプアニューギニアの津波防災プロジェクト、JICA 防災行政管理者セミナー、メンバー国客員研究員プログラム、年次報告書などを担当し、主に「災害予防」の観点から、関係国の法制度・組織・計画づくりなど防災体制強化のために努力してきました。

災害による被害を防止軽減するためには、まず自国及び地域の状況や資源を十分把握し、それに応じた対策を各レベルで実行することにより自ら防災力を高めることが大切です。今世紀は、大規模地震や火山災害に加え、地球温暖化等気候変動により、より大規模な洪水、暴風雨、干ばつなどの発生も懸念されるため、災害予防及び被害軽減の戦略を立て、具体的計画を実行することがこれまで以上に必要と考えます。

この場をお借りしてお願いしたいのは、まず、自国の状況(災害・危険地域)把握と結果の国民への周知、緊急対策の実施です。また、災害予防、応急対策、復旧・復興にわたり、自国・地域の体制チェックと改善もぜひ進めて下さい。このとき、アジア防災センターのリソースとネットワークは各国の皆さんにとり、必ずお役に立つと思います。

6月末でアジア防災センターを離れ、住友電工に戻る事となりましたが、これまでのご指導とご支援に深く感謝致しますと共に、アジア防災センターへの変わらぬご支援とご厚誼のほどよろしくお願い致します。皆さまの今後のご健康とご多幸を心からお祈りしております。

➤ アジアにおける最新災害情報

□ 中央アジアにおける干ばつ

タジキスタンとウズベキスタンにおいて、3月以来の高温で乾燥した気候により、干ばつが起こっています。作物栽培が大きな被害を受け、また飲料水の不足が懸念されています。

(6/12, 6/13 OCHA Situation Report)

□ 中国で洪水発生

5月初旬以来、中国南部の広西チワン族自治区で大雨が続き、これまでに洪水や地すべりによって66人が死亡、3,198人が負傷しました。500万人余り、15,800家屋が浸水による被害を被りました。

(6/17 CNN ニュースなど)

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行： Asian Disaster Reduction Center(アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 IHDビル3F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)0346 FAX: 078(230)0347

誌代・送料： 無料 / 毎月2回発行(予定)